



3月24日(水)、コープおおいた青崎本部事務所に6名の入協前研修が行われました。配達同乗や店舗への研修、グループ会社についてなど各事業部の責任者が説明を行いました。
4月からはそれぞれが宅配事業部・店舗事業部へと配属されています。最初は不安で分からないことばかりですが、分からない事はどんどん聞いて吸収してください。今後の活躍を期待しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言は解除されましたが、コープおおいたでは引き続き、組合員のみなさまが安心してご利用できるように、従業員一同、健康管理に十分留意して事業を行います。

「包括連携に関する協定」を 玖珠町と締結しました

2月19日(金)、生活協同組合コープおおいたは玖珠町と「包括連携に関する協定」を締結しました。コープおおいたが自治体と締結する包括連携協定としては、県内で8例目となります。

締結式の中で、宿利 政和町長より「生協がもつ宅配や買い物支援のシステムは、山間地域に欠かせないライフラインでもあります。地域の見守り活動など、玖珠町の住環境をともにより良いものにしていきましょう」と挨拶されました。コープおおいた代表理事 理事長 青木 博範は「玖珠町の買い物弱者支援や有事の際の災害復興、町産品の普及・販路拡大など、生協のネットワークを活用した取り組みを拡げていきたいと考えています。特に災害支援に関しては、有事の際に生協が地域へお役立ちできるよう、平時から情報交換や防災学習等に取り組んでまいります。」と話しました。

玖珠町とコープおおいたの 包括連携協定 連携項目

- ・地域の見守り・声かけに関すること
- ・健康づくりに関すること
- ・子育て支援に関すること
- ・防災と災害時の支援に関すること
- ・町産品、農林水産物および加工品の販路拡大に関すること
- ・買い物支援に関すること
- ・その他地域住民サービスの向上および地域社会の活性化に関すること

店舗・宅配で「進撃の巨人」 関連グッズを販売します

2009年から「別冊少年マガジン」で連載をスタートした「進撃の巨人」。原作コミックは累計8,000万部を超える大人気コミックの作者、諫山 創氏は大分県日田市出身としても知られています。

コープおおいたでは、日田市と締結している「地域づくりに係る包括連携協定」に基づき、地域の一層の活性化につながる取り組みを進めるため、展開されている関連グッズを店舗、宅配事業のカタログで販売いたします(画像は商品の一部です)。

店舗 全店舗で5月1日(土)から取扱い予定

宅配 [配布]5月17日(月)から/[注文]5月24日(月)から
[お届け]注文の翌々週 6月7日(月)から

進撃の巨人 in HITA 大分限定 缶バッジセット 2,000円(税込)

電子レシートがスマートフォンに届くアプリ 「スマートレシート」を 店舗に導入しました

「スマートレシート」とは通常紙で発行されるレシートを電子化し、スマートフォンでレシートの確認ができるアプリです。紙のレシートの削減で環境負荷低減を目指します。

コープおおいたのお店8店舗では1日に1万人強の来店があり、そのうち10%が「スマートレシート」に登録すると年間90km分のレシートの削減になります。

ご登録がお済みでない方は、ぜひご登録ください!

「スマートレシート」画面イメージ▶

「スマートレシート」詳細サイト▶

「2030年ビジョン」サイトが 開設されました

「第69回 通常総代会」にて「2030年ビジョン」が承認され、ビジョン達成に向けて始動しています。「2030年ビジョン」の目的や取り組みについて、サイト内でご紹介しています。

「2030年ビジョン」とは

コープおおいたが2030年までの10年間、「どこに向かって」を明らかにするためのビジョンです。コープを利用する組合員や地域のみんなの豊かなくらしのため、コープで働くみんなの幸せと誇りのため、コープが地域社会に役立ち、大分の元気をサポートするため、私たちのビジョンをさまざまな場所で伝えていきます。

「2030年ビジョン」サイト▶

4月10日(土) 親子体験スクールin清川 開校しました

[Aコース] 9時~11時 6家族(おとな 8名・子ども12名)
[Bコース] 13時~15時 7家族(おとな14名・子ども10名)

第13回となる親子体験スクールの開校式および初回作業を行いました。前年は新型コロナウイルス感染症拡大により春は集まることができず、7月の収穫祭のみの開催でしたが、ガイドラインに添い3密を避けるなど十分な注意を払う中で開催することができました。今年はAコース、Bコースと2つのコースに分かれて、例年よりやや少数のご家族に参加していただく形をとっています。

初回である今回は里イモの種イモの植え付けに始まり、インゲン、オクラ、キュウリ、トマト、ナス等の苗や種の植え付けを行いました。その後、休憩を挟みトマトの誘引とバジルの植え付けをし、約2時間の作業は終了しました。熱心に植え方の説明を聞き、お父さんお母さんと一緒に楽しそうに、尚且つ真剣な眼差しで作業を続けました。

親子体験スクールは、お子さんに種や苗を植えるところから、野菜のお世話、収穫までを体験していただき、農業の大変さや収穫の喜び等を学んでいただく食育イベントです。

災害支援の人材育成のため 研修派遣が始まりました

コープおおいたは、持続可能な災害支援、被災者支援活動を展開していくため、有事に備えて人材育成とネットワークづくりを「災害支援方針」として策定しました。そして、有事の際にいち早く被災地へ駆けつけ、コープおおいたの災害支援活動の指揮をとるコープおおいた災害支援先発隊「CODRA(コドラ)」を新設しました。

この度、幅広い災害支援・被災者支援活動を展開し、全国の災害支援ボランティア団体(JVOAD)、県・市町村および社会福祉協議会とも連携している「特定非営利活動法人リエラ(日田市拠点、代表理事:松永謙矢氏)」に、コープおおいたの職員を2021年3月1日付で研修生として6カ月間派遣します。学んだ知識・経験は有事の際にコープおおいた災害支援先発隊「CODRA(コドラ)」へひろげられ、コープ全体の支援活動をリードする存在として従事します。

災害支援の人材育成▶ 研修派遣の詳細▶

コープおおいた災害支援メンバー
CODRA Coop Oita Disaster Recovery Assistance
コープおおいた 災害 復興 支援

環境基金助成金 支給団体 活動報告



コープおおいたでは有料レジ袋やリサイクル活動の益金などを「環境基金」として積み立て、環境活動や助成事業に取り組んでいます。大分県内で環境活動に取り組み、3年以上の活動実績のある団体やグループの助成団体を公募し、2020年度は下記の4団体に環境基金助成金を各20万円支給しました。

団体名:「チーム2℃おおいた協議会」

代表者:加藤 俊一

「アースデイおおいた2020」と「子ども地球教室」を開催。多くの市民へ地球の大切さを知ってもらうことを目的として、エシカル消費と地球と一緒に考える教室を実践しました。海洋ごみの紙芝居(ごみのポイ捨てによる海洋汚染について)やエコな物づくりワークショップを開催し、SDGsの普及と啓発にも取り組みました。



団体名:「ソーシャルプラネット大分」

代表者:荒江 進

地域社会の活性化と生活環境改善を目的とし、川辺の清掃整備やホテル観賞会を開催しました。約20年前は生活排水などの影響でホテルの姿を見ることができませんでしたが、地元「住吉川にホテルを増やす会」の方々の熱心な活動の結果、近年は毎年ホテルが生息しています。今年度もその餌になるカワナが住めるきれいな水質や川辺の草むらの管理を実施しました。



団体名:「NPO法人いきいき安心おおいた」

代表者:理事長 平山 順一

厄介ものになっている竹を有効活用する取り組みは地区住民とともに行うことで過疎高齢化地域が活性化し、放置竹林整備によって災害指定危険区域の解消にも貢献しています。この取り組みを持続可能にするため、企業や大学と連携して竹を大量消費するバイオマス発電・熱利用及び燃料電池事業を計画しました。また、放置竹林内にあるクヌギ木を活用し、次世代を担う子どもたちとしたいけのコマ打ち体験活動と環境学習に取り組みました。



団体名:「大分県生活学校運動推進協議会」

代表者:小野 ひさえ

地球温暖化、ゴミ問題、食品ロス、レジ袋削減など身近な生活課題について取り組んでいます。次世代につなぐ環境保全活動として、保育園児と桜の植樹を実施しました。地球温暖化防止への新たな一歩とし、卒園しても末長く桜を見守り、緑の保全活動に関心を持ってもらうことを目的としています。



福島県新地町へ 災害募金をお届けしました

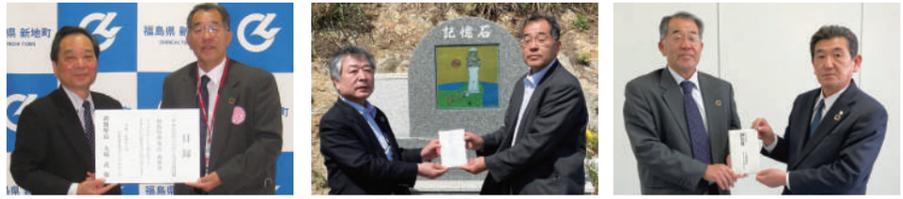


「2021年 福島県沖地震募金」 3,584,930円

2月13日(土)に発生した「福島県沖地震」において被害に遭われたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

家屋被害が著しかった福島県相馬郡新地町のみなさまを支援するため、3月27日(土)まで「2021年 福島県沖地震募金」に取り組みました。組合員のみなさまから寄せられた募金は3,584,930円となり、新地町へお届けしました。募金をいただいた組合員のみなさま、ありがとうございました。

また、友好団体である「みやぎ生協コープふくしま 福島県本部」、「JAふくしま未来」へコープおおいたよりお見舞金をお届けしました。被害にあわれたみなさまの一日も早い復旧をお祈りしています。



新地町 大塚町長、みやぎ生協コープふくしま 福島県本部 穴戸副部長、JAふくしま未来 数又組合長

2020年度 第6回 産直認証商品



3月5日(金)にコープおおいた本部事務所で開催されました。

「2020年度 第6回産直認証会議」で認証された商品は右記のとおりです。

久留米市 中繁農園 (株)グリーンファームコミュニケーションズ チンゲンサイ	大分市 赤峯農園 スイートコーン
--	---------------------

産直マーク、ご存知ですか?

栽培計画中の農薬の使用を確認し、産直産品が行政の定めた慣行栽培基準に対してどれだけ削減されたかを、4段階にわけてマークで案内します。

慣行の基準内で栽培 (30%未満)	30%以上 削減	50%以上 削減	不使用	畜産・水産・ たまごの産直産品

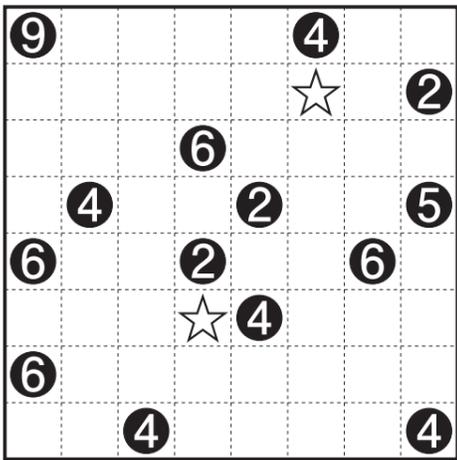
3月までの リサイクル 回収実績

古紙類の回収量 (牛乳パック・カタログなど)	卵パックの回収量	プラスチックトレイの 回収量(店舗のみ)	マイバッグ持参率	ペットボトル キャップの回収量	集品袋・カタログ セット袋の回収量	廃油の回収量 (店舗のみ)
924,048kg	5,295kg	約2,963kg	89.1%	約2,613kg	約6,321kg	約39,993ℓ

PUZZLE パズル

四角に切れ

数字を頼りに盤面を四角く切り分けるパズルです。まずは例題を見て、解き方をのみこんでください。



ルール

- 点線の上にタテヨコに線を引き、盤面をいくつかの四角形(長方形や正方形)に分けましょう。
- どの四角形にも数字が1つずつ入るようにします。
- 数字は、その数字が入る四角形のマス数がいくつになるのかを表しています。例えば4と書いてあるマスを含む四角形は、1×4、2×2、4×1のいずれかになります。

解答欄

☆のマスを含む四角形の面積(マスの数)はいくつでしょう? 二つの四角形の合計数をお答えください。

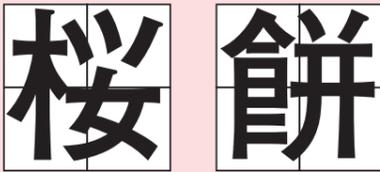
〒870-0278 大分市青崎1-9-35
コープおおいた「虹のたより」コープパズル係まで
●eメール:niji@oita.coop
●締め切りは6月16日(水)【当日消印有効】です。

専用フォームでの
応募が
可能となりました。
郵便ハガキ・eメールで
ご応募も可能です。



3・4月号 漢字合わせ札

答え「桜餅」



当選者は、下記に掲載しています。

パズル・くらしの知恵袋 応募方法

郵便ハガキ、eメール、応募専用フォームに「パズルの答え」と①住所、②氏名、③年齢、④組合員番号〔組合員番号は8桁の数字で、組合員カード(Cataroカード)・注文用紙・納品書に記載しています。〕、⑤「虹のたより」への感想や「くらしの知恵袋」などお寄せください。ペンネームでの記載をご希望の方は、あわせてご記入ください。いただきました感想や「くらしの知恵袋」を広報物に使用させていただくことがございますので、ご了承ください。なお、ご記入いただきました個人情報他は他の目的で使用しません。パズルの正解者10名の方には「カラー屋仕込みの焙煎カレールー」をプレゼントします。正解者多数の場合は、抽選となります。「くらしの知恵袋」が採用された方には「コープミニバックジュース飲みくらべ」をプレゼントいたします。

くらしの知恵袋

洗濯したタオル類を干す前に、優しく縦振りすると、フワツとなります。
(大分市:レンランママさん)



5月・6月の主なスケジュール

- 5/14(金) 産直認証会議
- 5/20(木) 組合員の声を活かす委員会
- 5/21(金) 組合員理事協議会
- 5/28(金) 理事会
- 6/ 4(金) 組合員理事協議会
- 6/ 9(水) 理事会
- 6/16(水) 組合員の声を活かす委員会
- 6/23(水) 第70回 通常総代会

3月のコープおおいた

- 組合員数…178,168世帯
生協に加入している世帯数です。
- 出資金…6,539,002千円
出資をもとに生協の運営を行います。